

令和8年度 第4回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和8年9月10日（木） 19：00～21：30

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、高井隆義、杉本好二、実島可斉、鈴木光、太田宏暁、
寺門浩之、小野琢司、福島政幸、芦崎高志、田中彰子、野上広志、
菅生桃子

※理事総数：14名、本日の出席理事13名

【監事】安原 徹、石原美穂

※監事総数：2名、本日の出席監事2名

【陪席】松谷昌典（事務局長）、篠原孝志（広報委員長）、
佐々木陽一（国際委員長）、阿久津貴史（東京都理事）
柴原淳（技術委員）

理事の高井隆義、杉本好二、実島可斉、鈴木光、太田宏暁、寺門浩之、小野琢司、福島政幸、芦崎高志、田中彰子、野上広志、菅生桃子、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

第1号議案：「競技者等の商行為に関する運用基準」改訂案承認の件

登録選手のサプリメント会社アンバサダー就任に伴うアンチ・ドーピング対策上の懸念を受け、「競技者等の商行為に関する運用基準改訂案」が諮られた。東京都の阿久津理事（前アスリート委員長）より、選手がサプリメントの広告・宣伝に関与する際、第三者機関による品質および物質分析を必須とする規定条文の追記が提案された。本提案について、2028年度から適用することや、他競技での運用事例を踏まえた議論が行

われ、原案を修正する方向で合意した。規程改訂案については、継続審議とし法務上の検証を経て、次回理事会に上程することとなった。

第2号議案：技術委員長任命の件

技術委員会委員長任命の件について、柴原淳氏のプロフィールが提示され、専門委員会規程に定める欠格事項への該当がないことが確認された。審議の結果、出席理事の全員一致により原案通り承認された。なお、副委員長については今回の選任を見送ることがあわせて確認された。

第3号議案：器具公認の件

「パワーリフティング用器具類の公式認定に関する規程」第2条第1号に基づく器具類の公式認定について、技術委員長より議場に諮られた。申請のあった「ONI CNC ミルドコンペティションディスク（一式）」について基準を満たしている旨の説明がなされ、審議の結果、出席理事の全員一致により承認された。

第4号議案：審判講習会の開催承認の件

審判講習会の開催について、9月26日～27日に開催される青森国スポ公開競技の機会に3級審判取得講習会を実施する件、および10月中にオンラインにて同講習会を開催する件が議場に諮られた。審議の結果、出席理事の全員一致により承認された。

第5号議案：国際委員会委員任命の件

国際委員会委員の任命について、佐々木委員長より委員2名（堤太郎氏、橘井政人氏）の推薦状が提示され、委員追加について議場に諮られた。審議の結果、出席理事の全員一致により原案通り承認された。

第6号議案：賛助会員企業より提案事項

一般のパワーリフティング世界大会およびアジア大会の日本代表選手全員を対象としたスポンサー提案が国際委員会へ寄せられた旨が報告された。審議の過程では、他メーカーと個人スポンサー契約を締結している選手への配慮や、特定の用具着用を強制することへの懸念が示され、全員一律での着用義務化は不可とし、任意での受け入れであれば可能との意見が出された。審議の結果、提案をそのまま受諾することは見送るものの、着用を強制しない任意での受け入れを条件として回答を行う方針について、出席理事の全員一致で承認された。

第7号議案：ヘッドコーチ派遣の件

国際パワーリフティング連盟によるヘッドコーチ派遣義務化に伴い、国際派遣の継続性向上に向けて、各国際大会へ有資格者を派遣する必要があるが、人選が難航している現状が報告された。選手やセコンドとして

渡航予定のある有資格者へ打診を行っているものの、延泊分の宿泊費追加程度の補償では他選手のサポート業務を兼任することが敬遠される課題が示された。協会として経済的合理性ある支出にとどめる観点から、もともと渡航予定であった者へ旅費全額を支給することは不適切であるとし、基本手当や日当の支給など、明示的なルール化の必要性が提起された。また、本ルール策定にあたっては、対象者間で有利・不利が生じないよう公平な基準を設定することが求められた。審議の結果、本件の具体ルール策定については事務局および技術委員会、国際委員会へ一任とすることについて、出席理事の全員一致で承認された。

第 8 号議案：ヘッドコーチ専任化の検討

上記議案に関連し、ヘッドコーチの専任化について検討された。人選に苦慮している現状において、派遣ごとに基本手当や日当を支給する対応ではコストが膨大となることが懸念された。国内のパワーリフティング統括団体として国際大会への派遣を絶やさないため、令和 9 年度より専任者を定める方針が諮られた。審議の過程では、雇用契約とする場合の労務管理や付随する事務作業の負担が課題として挙げられ、業務委託契約による運用の提案がなされた。審議の結果、業務委託契約を含めた専任化の方向性で検討を進め、次回理事会にて詳細を提出・審議することについて、出席理事の全員一致で承認された。

第 9 号議案：コーチ登録費の支給について

本協会からの依頼によってコーチ着任したものに対して、I P F へ支払うコーチ費用について本協会負担とすることが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第 1 0 号議案：グレートゲームスの件

グレートゲームスに関して、スポンサー 3 社と交渉中である旨が報告された。うち 1 社より高額な使途特定寄付の申し出があった。当該の会社は使用条件の詳細な明示が伴うため、該当するメール文面が提示されたうえで議場に諮られた。審議の結果、指定のあった使用条件等を鑑み、寄付金取扱規程第 9 条に基づき、当該事業者からの寄付受け入れを辞退することについて、出席理事の全員一致で承認された。

第 1 1 号議案：奄美大島大会の参加費について

瀬戸内町で予定されている全日本パワーリフティング選手権大会の参加費改定について検討された。バス運転手費用の高騰や、年度末開催に伴う会計の収支相償が求められる中、近年の国際派遣におけるコーチ費用負担増など、団体運営コストが大幅に増加している現状が報告された。また、補助金獲得額は増加傾向にあるものの、永続的な補助金獲得は見込めないことから、今後は補助金の関与率を下げ、自律的な団体運営を目指す方針が提示された。これらに伴い、大会コストの全額転嫁は避け

つつも費用の一部を受益者負担とし、参加費を1人あたり2,000円引き上げる提案がなされた。審議の結果、次年度以降の持続可能な協会運営の観点を鑑み、本提案通り、当該大会の参加費を引き上げることにについて、出席理事の全員一致で承認された。

第12号議案：2027年北九州国際大会の参加賞について

2027年に小倉で開催予定のオープンおよびジュニア・サブジュニアパワーリフティング選手権大会の参加賞について説明がなされた。IPFとの契約では、大会主催者が選手および役員を含むすべての参加者に対し、参加メダルまたは記念品を用意することが義務付けられている旨が報告された。これに対し、北九州市および北九州観光コンベンション協会より、都市鉱山から採取した金を用いたオリジナルデザイン（刻印入りパッケージ）の葉を制作する提案がなされた。金価格の上昇に伴い次年度以降の値上げが見込まれる中、1枚あたり1,210円、計500個の予定であり、他のメダル等を調達するよりも安価に抑えられる点が説明された。審議の結果、本提案について出席理事の全員一致で承認された。なお、発注にあたってはIPFヘデザイン等の事前確認を行った上で行うこととされた。

第13号議案：2027年度全国大会の開催地について

組織委員長より、2027年度主催大会の開催地および会場について議場に諮られた。なお、一部の掲載事項は暫定であり、今後変更となる可能性がある旨が補足された。審議の結果、本件は出席理事全員一致で承認された。また、2028年度のベンチプレス大会に関しては、香川県での事業評価結果を踏まえた上で、再度統合する旨の提案がなされた。

第14号議案：2027年コーチ1講習会開催承認の件

2027年度コーチ1講習会の日程について諮られた。次年度は関西地区にて開催する旨が説明され、以下の日程および会場案が提示された。

日程：2027年6月26日（土）～27日（日）

会場：伯鳳会医療専門学校明石校（兵庫県明石市）

審議の結果、出席理事の全員一致により原案通り承認された。

第15号議案：第5回日本グランプリについて

- (1) 第5回日本グランプリについて、パワーリフティング300名、ベンチプレス300名の募集定員で受付を開始したところ、パワーリフティング枠は開始9分で定員に達した旨が報告された。一方、ベンチプレス枠には余裕があり申込みが停滞している状況を踏まえ、運営に支障のない範囲でベンチプレス枠をパワーリフティング枠へ振り替え、再募集を行う提案がなされた。なお、アンチ・ドーピング講習会および週末の地区大会の実施に伴い、追加の申込み需要が見込まれることから、翌週の申込み状況を見極めた上

で告知を行い、再募集を実施することとされた。

- (2) 日本グランプリは、スポーツのイベント性を高めるスポーツ庁の「ジャパンゲームズ構想」に着想を得て企画されたものであり、これまでも他スポーツとのコラボレーションを実施してきた経緯が報告された。本年度の取り組みとして、インターバルを利用し、主管の兵庫県パワーリフティング協会による「力比イベント」を開催する旨が議場に諮られた。審議の結果、出席理事の全員一致により承認された。

第16号議案：鈴木理事への謝金支払い承認について

アンチ・ドーピング講習会の講師対応およびドーピング検査業務に伴う鈴木理事への謝金支払いについて、議場に諮られた。審議の結果、出席理事の全員一致により原案通り承認された。

第17号議案：簡易ドーピング検査について

一部のブロック大会での検査実施が議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第18号議案：日本グランプリ実働理事への謝金支払い承認の件

日本グランプリ実働理事への謝金支払いについて、同大会において審判や補助員等の実働業務を担う理事に対し、謝金を支払う件が議場に諮られた。審議の結果、出席理事の全員一致により承認された。

第19号議案：事務局パソコンの購入承認の件

事務局パソコンの購入について、2020年に補助金を活用して購入した事務局用PCにおいて動作不良が発生しており、現在は再起動を繰り返しながら運用している窮状が報告された。特にAI処理を伴う業務や、300名規模のZoom接続によるアンチ・ドーピング講習会のホスト時に高負荷が生じ、日常業務および講習会運営に支障をきたしていることから、完全稼働不可となるリスクを回避すべく新規購入の提案がなされた。購入内容として、メーカー認定整備済製品および公的機関提出書類等の作成に必要なOfficeソフトを含め、総額約33万円での更新計画が提示された。また、大人数オンライン講習会のホスト機能や平素の事務処理への適性を踏まえた比較対象機器についても資料が提示され、検討が行われた。審議の結果、出席理事の全員一致によりPCの新規購入が承認された。

第20号議案：利益相反取引承認の件

利益相反取引の承認について、当協会会長が経営する医療法人伯鳳会との商品売買契約に関し、以下の内容について承認が求めら

れた。

- ・品名および単価：第5回グランプリ用弁当 1食 700円
(お茶付き・廃棄処分料込み)

- ・予定数量：1日あたり 100食見込み

審議の結果、会長を除く出席理事の全員一致により承認された。

報告事項：(1) バーの握り方に関するルール解釈について

ベンチプレスの新グリップルールに関する選手からの問い合わせと、技術委員会の解釈について報告がなされた。問合せ内容は、手指の身体的特性等により「すべての指で完全に握る」規定を満たしにくいとして、例外措置を求めるものであったが、技術委員会の見解は、「完全」の定義はバーを隠すことではなく「手指の掌側面がバーに触れている状態」を指し、健常者への診断書による例外措置は適用されないものである。

(2) 上半期の財務状況報告

上半期の財務状況(8月末時点)について報告がなされた。会員数の増加に伴い会費収入は増加傾向にあるものの、国際派遣費の高騰やヘッドコーチ等の派遣に伴う経費の増加が見られるため、今後の団体運営において収支相償を日指す方針が示された。

(3) ガバナンスコード自己公表について

ガバナンスコードの自己公表について、2026年10月の自己公表に向けた資料作成の必要性が報告された。これに伴い、事務局長より各委員長に対し、必要書類の作成および対応についての協力要請がなされた。

(4) 青森国スポの件

アンチドーピング講習会の記述について、要項上記載上のミスがあり、該当する選手について対処をした旨の報告がなされた。

(5) 次回以降の理事会予定

11月5日(木)、1月7日(木)、3月18日(木)

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は21:30に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和8年9月10日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城 資久



監 事

安原 徹



監 事

石原 美保

